

研修グラウンドルール

グラウンドルール①

- ここでは、受講者・ファシリテーター・講師は、**それぞれの立場の違いを尊重し、ともに入院者訪問支援事業／精神科入院者の権利擁護について学びます。**
- 立場の違う人の話はときに**違和感**を抱くことがあるかもしれません、立場の違う人を前に**言葉**にしてくれたことに**感謝**したいと思います。
- お互いに**「話を聞く」場**をつくり、受講者全員で話す機会を**分かち合いましょう**。長くなりすぎないよう気を配りつつ思いを伝えることも大切です。

グラウンドルール②

- 否定や評価、割り込みは推奨されません。
- この場にいない立場……今まさに入院している人、今日は参加していない職種、その他の立場の人たちのことも折に触れて意識するといいかもしれません。
- 何かあれば事務局、ファシリテーターまで、お知らせください。

【チェックイン】 (約10分)
自己紹介・アイスブレイク

自己紹介・アイスブレイク（班ごと）

■お名前

■どちらからご参加ですか？

都道府県／市町村／近くの大きな駅や観光地

■実は●●です

たぶんこのグループで●●は私だけです

*進行はファシリテーターがします

*タイムキーパーは班ごとに決めてください

【演習①】（約40分）

入院者訪問支援員の役割に関する考え方

【演習①】プログラム

タイムテーブル		内 容	ファシリテーターの役割
10分	全 体	概要説明 入院者訪問支援員の役割についてのアンケート（事前課題）結果の解説	
5分	個 人	個人ワーク 解説を踏まえ、アンケートに回答時に悩んだ点やグループメンバーに意見を聞いてみたい点などを意識して各自で振り返りを行います。	
25分	グルーブ	グループワーク ●「正解」にたどり着くことを目指すのではありません。 ●様々な考え方があること、原則を思い出しつつも、迷ったら相談したり話し合うことが大切であることを確認します。	<ul style="list-style-type: none">●進行、時間管理をします●示された項目（アンケート結果で意見が分かれたところ）を中心に意見交換をします。

演習①について (約40分)

ねらい

- ・ 訪問支援員の役割は、通常の支援場面（医療、障害福祉サービス等の提供）における支援者の役割とは異なることを理解する
- ・ 訪問支援員が支援するにあたっての原則は講義で示されているものの、実際の場面では判断に迷うこともあります、その場合は自分一人で判断したり、その場で解決しようとしたりせずに、支援員同士で相談したり事務局に持ち帰って相談したりすることが大切である、ということを理解する

進め方

使用想定資料：事前アンケート集計結果、提出したアンケート用紙（当日個別に配布）

- ✓ 個人ワーク（5分程度）：集計結果と自分の回答とを比較しつつ、支援員の役割について自分の考えを整理してもらいます。
- ✓ グループワーク（35分程度）：重点項目（次ページ）についてどのように考えたかについて話し合います。
- ✓ 「正解」を見つけることが目的ではなく、他の参加者と意見交換することにより様々な考え方があることを実感しつつ、支援員の役割についてのイメージを共有することが大切です。

重点項目

✓ **必須項目** : 46～48 最善の利益と「中立」の考え方

(46 客観的に見て、本人にとって何が最も良いことかを考えて行動する 47 本人の味方として、本人の立場で行動する 48 公正中立な立場で行動する)

「味方」とはどういう意味か？(病院を「敵」とみなしているわけではない)、医療福祉サービスにおける支援との違いはどこか？「最善の利益」や「中立性」を追求してはいけないのか？など

✓ **優先項目** (時間があれば検討) : 29 本人の考えが間違っていると思われる場合にはそのことを伝える、32～34 様々な場面での同席 (32 ケア会議や退院支援委員会等に同席する 33 医師の診察に同席する 34 審査会の意見聴取に同席する)

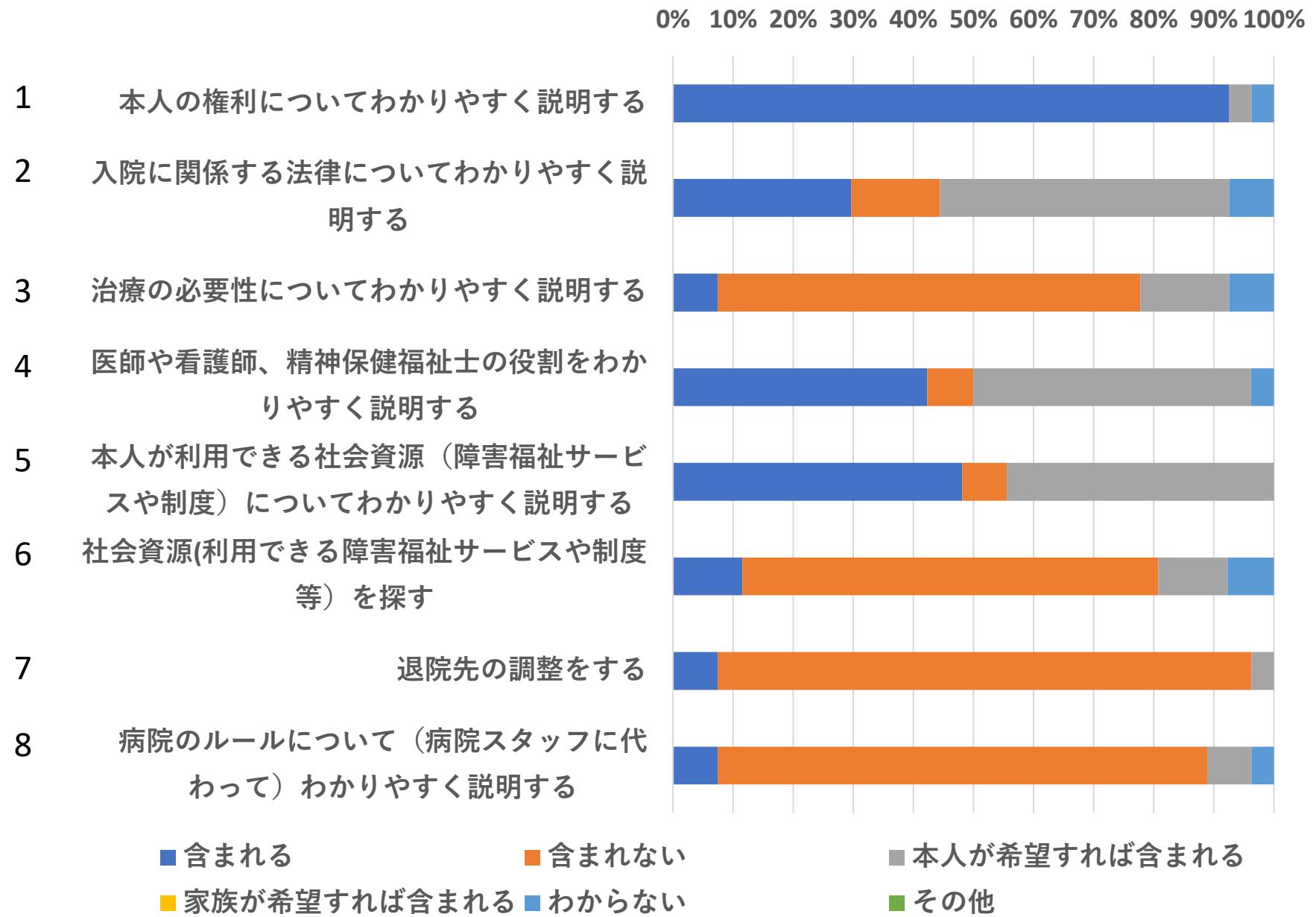
それぞれの項目についての参加者の考え方を共有する

✓ 時間が余れば、その他の項目についても話し合う

入院者訪問支援員の役割について の考え方 アンケート結果（当日配布）

（注）自治体で使用する場合はそれぞれのアンケート結果を用いてください
次ページに資料構成の参考としてアンケート結果の一部を掲載しております。

参考：研修参加者のアンケート結果（一部）



【演習②】 (約70分)
出会いの場面
(ロールプレイと意見交換)

【演習②】プログラム

タイムテーブル	実施項目	内 容	ファシリテーターの役割
10分	全 体	概要説明 デモプレイ	
30分	グルー プ	<p>ロールプレイ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1回5分程度。 ●受講者が入院者、支援A（進行担当）、支援員B（記録担当）をします。<u>全員が支援員A（進行担当）</u>をします。 ●入院者、支援者の気持ちを想像しながら、演習シナリオを読み上げます。 ●ロールプレイの配役以外の受講者は、ロールプレイをしている様子を見ながら、「姿勢」や「言葉かけ」などを注意して観察し、気づいたことなどメモをとります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●進行・時間管理をします。 ●全員が支援員A役をします。 ●ロールプレイが終わり次第、グループワーク（感想のシェア）を進めてください。
20分	グルー プ	<p>グループワーク（感想のシェア）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ロールプレイを通して、感じたこと・考えたことを共有します こんな風な「姿勢」でしたらよかったです このような「言葉かけ」ができるのではないか ●入院者の立場、支援員という立場での思い（安心感や不安、迷いなど）を出し合います。 	<ul style="list-style-type: none"> ●進行、時間管理をします。 ●感想を出し合いながら意見交換をします。他の人の感想からの気づきを大切にできるように進めます。（出された感想に対する感想や意見も確認します）。
10分	全 体	まとめ	

演習②概要説明 (約10分)

内 容

ロールプレイを通して
出会いの場面のイメージをつかむ

関連講義

訪問支援員の実践

流れ

全 体

説明 → デモプレイ（1回）

グルーブ

ロールプレイ（全員） → 意見交換

全 体

まとめ

演習②概要説明

目 標

- 初回のイメージをつかみ、
安心して参加できるようになる
- 2名体制の意味を知る
- 入院者に伝えることの把握

- * コミュニケーションスキル、面談技術の獲得が目的ではありません。
- * 訪問支援員がどのような姿勢で関わるかを体感していただきたいです。

演習②概要説明

確認ポイント

会いに行くまでの流れ

訪問支援の依頼… 2人ペアでの訪問調整

→継続して会いに行く場合、同じペアで訪問できるとは限らない

→経験者と未経験者がペアを組むなどできることが望ましい

→相談内容に合わせ、当事者、医療福祉従事者、市民等の

ペアリングもできるとなおよい

→ペア間での事前打ち合わせ（当日でもよい）の中で相談を

リードする役割と記録を行う役割などを確認しておく

（今回の事例では支援者Aがリード役、支援者Bが記録役）

演習②概要説明

確認ポイント

初めて会う時に伝えること

①いきなり本題に入るのではなく、アイスブレイクを意識する

①どこからの連絡で面会にきたのか

②費用はかからない

③入院者の味方

④秘密を守る

(本人が希望した場合を除き、病院職員には伝えない)

⑤次回について

(また来てもよいか、入浴・診察・OT等きいておく)

演習②ロールプレイ (約30分)

進め方

使用想定資料：演習シナリオ

- ✓ 1回5分程度。
- ✓ 受講者が入院者、支援員A（進行担当）、支援員B（記録担当）をします。全員が支援員Aをします。
- ✓ 入院者、支援者の気持ちを想像しながら、演習シナリオを読み上げます。
- ✓ ロールプレイの配役以外の受講者は、ロールプレイをしている様子を見ながら、「姿勢」や「言葉掛け」などについて気づいたことなどメモをとります。

演習②グループワーク (約20分)

意見交換

ロールプレイを通して、感じたこと・考えたこと

- こんな風な「姿勢」でいたい
- こんな風な「言葉かけ」ができる

演習②まとめ (約10分)

出会いの場面のイメージをつかむ

- 初回のイメージをつかみ、安心して参加できるようになる
- 2名体制の意味を知る
- 入院者に伝えることの把握

演習②まとめ

出会いの場面のイメージをつかむ

- 初回で解決することは少ない
- まずは、信頼関係を築くことが大切
- わからないこと、返答できなかつたことなどは、持ち帰ることができる
- 次回に向けた調整のため、予定等の確認をする

【シンポジウム】 (約110分)
入院者訪問支援事業の意義と
支援員の役割～それぞれの立場から～

【シンポジウム】プログラム

開始	終了	実施項目	内 容	ファシリテーターの役割
70分		全 体	<p>シンポジウム 入院者訪問支援事業の意義と支援員の役割 ～それぞれの立場から～</p> <p>①登壇者からの報告（70分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■入院経験者の立場から <ul style="list-style-type: none"> ・入院時に思っていたこと ・入院者訪問支援事業への思い ■活動参加者の立場から <ul style="list-style-type: none"> ・活動を行う中でよかったこと、迷ったこと ・入院中の方と出会った感じたこと ・活動者の一日 ■精神科病院の立場から <ul style="list-style-type: none"> ・病院が取り組むアドボケイト ・入院者訪問支援事業への期待と不安 ■行政の立場から <ul style="list-style-type: none"> ・事業を始めた理由。期待や不安 ・事業実施に向けた取り組み 	
20分		グルーブ	<p>グループワーク(20分)</p> <p>①活動の意義について ②事業実施に向けて</p>	●進行・時間管理
20分		全 体	<p>質疑応答(10分)</p> <p>①活動の意義について ②事業実施に向けて</p>	

シンポジウム (約70分)

内 容

入院経験者・病院管理者・活動参加者の報告から、「入院者訪問支援事業の意義と支援員の役割」を再確認する

登壇者から

- 入院経験者の立場
- 病院管理者の立場
- 活動参加者の立場
- 行政の立場

グループワークと質疑応答 (約40分)

意見交換・質疑応答

1. 登壇者報告を聞いてグループワーク
テーマ①：活動の意義について (10分)
テーマ②：事業実施に向けて (10分)

2. 質疑応答
テーマ①：活動の意義について (10分)
テーマ②：事業実施に向けて (10分)

【演習③】 (約80分)

**実際の相談場面～傾聴と支援員の役割～
(ロールプレイと意見交換)**

演習③について (約80分)

内 容

ロールプレイを通して
訪問支援員の役割を理解する

関連講義

訪問支援員の役割
訪問支援員の実践

流れ

全 体

説明
デモプレイ（1回）

グループ

ロールプレイ（1回）
意見交換

*相談例1・2
それぞれ行う

全 体

まとめ

演習③について

ロールプレイの進め方

使用想定資料：演習シナリオ

- ✓ 1回実施。5分程度。
- ✓ 受講者が入院者、支援員A（進行担当）、支援員B（記録担当）をします。
- ✓ 入院者、支援者の**気持ちを想像**しながら、演習シナリオを**読み上げます**。
- ✓ ロールプレイの配役以外の受講者は、ロールプレイをしている様子を見ながら、「**姿勢**」や「**言葉掛け**」などについて気づいたことなどメモをとります。

【演習③-1 お風呂に入れていない】プログラム

タイムテーブル	実施項目	内 容	ファシリテーターの役割
10分	全 体	概要説明 デモプレイ	
5分	グルーブ	<p>ロールプレイ（1回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●受講者のうち3名が入院者、支援員A（進行担当）、支援員B（記録担当）をします。 ●入院者、支援者の気持ちを想像しながら、演習シナリオを読み上げます。 ●ロールプレイの配役以外の受講者は、ロールプレイをしている様子を見ながら、「姿勢」や「言葉掛け」などを注意して観察し、気づいたことなどメモをとります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●進行・時間管理をします。 ●ロールプレイが終わり次第、グループワーク（感想のシェア）を進めてください。
20分	グルーブ	<p>グループワーク（感想のシェアと意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「お風呂に入れていない」という言葉の背景には、どういったことが考えられるか ●入院中の方に聞いてみたいと思ったこと ●ロールプレイを見て、感じたこと、考えたこと 	<ul style="list-style-type: none"> ●進行・時間管理をします。 ●支援員の役割、話を聞くことに軸を置いて意見交換を行います。

演習③-1 概要説明・デモプレイ (約10分)

目 標

訪問支援員の役割を理解する

話を聞くとはどういうことが理解する

演習③-1 ロールプレイ (約5分)

進め方

使用想定資料：演習シナリオ

- ✓ 1回実施。5分程度。
- ✓ 受講者が入院者、支援員A（進行担当）、支援員B（記録担当）をします。
- ✓ 入院者、支援者の**気持ちを想像**しながら、演習シナリオを**読み上げます**。
- ✓ ロールプレイの配役以外の受講者は、ロールプレイをしている様子を見ながら、「**姿勢**」や「**言葉掛け**」などについて気づいたことなどメモをとります。

演習③-1 グループワーク (約20分)

意見交換

ご本人の言葉の「背景」を知るためにできること

- 「お風呂に入れていない」という言葉の背景
- そのうえで入院中の方に聞いてみたいこと
- ロールプレイを見て、感じたこと・考えたこと

【演習③-2 退院したい】プログラム

タイムテーブル	実施項目	内 容	ファシリテーターの役割
10分	全 体	概要説明 デモプレイ	
5分	グルーブ	<p>ロールプレイ（1回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●受講者のうち3名が入院者、支援員A（進行担当）、支援員B（記録担当）をします。 ●入院者、支援者の気持ちを想像しながら、演習シナリオを読み上げます。 ●ロールプレイの配役以外の受講者は、ロールプレイをしている様子を見ながら、「姿勢」や「言葉がけ」などを注意して観察し、気づいたことなどをメモをとります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●進行・時間管理をします。 ●ロールプレイが終わり次第、グループワーク（感想のシェア）を進めてください。
20分	グルーブ	<p>グループワーク（感想のシェアと意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「親を説得してほしい」と言わされたことについて、感想や考えたことを共有します。 ●入院中の方に聞いてみたいと思ったこと ●ロールプレイを見て、感じたこと、考えたこと 	<ul style="list-style-type: none"> ●進行・時間管理をします。 ●支援員の役割として、できること、できないことに軸を置いて意見交換を行います。
10分	全 体	まとめ 演習3全体の解説	

演習③-2 概要説明・デモプレイ (約10分)

目 標

訪問支援員の役割を理解する

望ましいこと／望ましくないことを確認する

演習③-2 ロールプレイ (約5分)

進め方

使用想定資料：演習シナリオ

- ✓ 1回実施。5分程度。
- ✓ 受講者が入院者、支援員A（進行担当）、支援員B（記録担当）をします。
- ✓ 入院者、支援者の**気持ちを想像**しながら、演習シナリオを**読み上げます**。
- ✓ ロールプレイの配役以外の受講者は、ロールプレイをしている様子を見ながら、「**姿勢**」や「**言葉掛け**」などについて気づいたことなどメモをとります。

演習③-2 グループワーク (約20分)

意見交換

入院者訪問支援員の役割としてできること

- 「親を説得してほしい」と言わされたことについて、感想や考えたこと
- そのうえで入院中の方に聞いてみたいこと
- ロールプレイを見て、感じたこと・考えたこと

演習③まとめ (約10分)

訪問支援員の役割を理解する

- 話を聞くとは
- 望ましいこと／望ましくないこと

演習③まとめ

訪問支援員の役割を理解する

お話を聞いた後に職員に伝える場合

- ①入院者が伝える
- ②支援員が同席して、入院者が伝える
- ③支援員が同席して、訪問支援員が伝える
- ④訪問支援員が伝える

まずは 入院者の思いをしっかり聞くことが大切

**【チェックアウト】 (約20分)
支援員のミッションとわたしの思い**

【チェックアウト】プログラム

タイムテーブル	実施項目	内 容	ファシリテーターの役割
20分	グループ	チェックアウト 研修についてふりかえり、訪問支援員としてのミッションと自分の思いを確認して言葉にします。	進行、時間管理をします。
15分	全体	事務連絡	

入院者訪問支援員として

■研修を終えた私たちは、入院者訪問支援員として入院者に会いに行きます。研修について簡単にふりかえり、訪問支援員としてのミッションと自分の思いを確認して言葉にしてみましょう。

- ✓ Will やりたいこと
- ✓ Can やれること・やれそうなこと
- ✓ Must やらなければならないこと

チェックアウト

3分	説明
5分	個人ワーク
15分	約1分/人 × 5人 + 意見交換

■ 研修について簡単にふりかえり、訪問支援員としてのミッションと自分の思いを確認して言葉にしましょう。発表は1つだけお願いします。

- ✓ Will やりたいこと
- ✓ Can やれること・やれそうなこと
- ✓ Must やらなければならないこと